

米国セバン社フェライト計



本器は、研究室、工場、現地で使用されるよう開発された、操作の簡単な丈夫な非被壊検査器です。オーステナイト系ステンレスとマンガン鋼の溶着金属、母材の合格テスト（受入れ）テストが即座に得られる go - no go（各範囲に入るか、はみ出るか）方式です。本器は外回りの何ら標準を要さず、調節、目盛り表示も必要でなく、測定位置により左右されない。薄板、厚板、棒、不規則形状の物、又複雑な部分でも等しく充分検査できます。均質でない製品（被測物）中のフェライト量の局部的高低（むら）を効果的に探し出します。本品には0.5%、1.0%、1.5%、2.5%、5%、7.5%、10%、15%のインサートが標準品でつきます。本器の操作は既知の標準値 = 永久（棒）磁石対未知の物（被測物）との相互引力に基づきます。使用の際は、インサートはケース（本体）の上にねじ込みます。するとマグネットはインサートに引きつけられます。この時の引力はインサート中のフェライト量により左右されます。次にケースの底穴から突出したマグネット端を被測物に接触するよう持って来ます。ついで本体を接触面と率直方向（面に対して手前）に引離します。その際もし、被測材がインサートよりも高いフェライト量を有する場合、マグネットの方が先にインサートから離れ（“綱ひき”で被測物が勝つ）反対に被測材のフェライト分がインサートよりも低い場合、マグネットが先に被測物から離れる。（“綱ひき”でインサートが勝つ）こうしてインサートを互換してゆけば被測物のフェライト量の範囲が決定できます。本器はわずか重量 75 瓦、長さ 12.7cm で金属部分はすべてニッケル鍍金でスマートな櫛の本箱入り。

フェライト・ナンバー（FN）表示のフェライト計（姉妹品）

米国溶接協会の規定 AWS A4.2-74!によれば、フェライト量のチェックに当っては（1）測定器の表示がパーセント（%）で大きな狂いが生じていないかどうかを現場ではなく、フェライト・ナンバー（FN）で行われること、（2）測定器の表示に大きな狂いがいないかどうかを現場でチェックすることが出来ること、の二点が要求されています。

このような業界の動向にあわせて、AWS A4.2-7に合致したフェライト計 II 型も供給しております。この II 型は従来のフェライト計（I 型）と同じですが、インサートが全部 FN 表示であること、各測定器毎に「チェック・インサート」が付属しており、測定結果に大きな狂いが生じていないかどうかを現場で簡単にチェック出来る（較正用でない）。

標準品のインサートは、2.5、5.0、8.0、10.0、12.5、15.0、17.5、20.0FN。

米国セバン社低透磁率（ローミュー）計



本器は、研究室、工場、現地で使用されるよう開発された、操作の簡単な上、丈夫な非被壊検査器です。オーステナイト系ステンレスとマンガン鋼の溶着金属、母材の合格テスト（受入れ）テストが即座に得られる go-no go（各範囲に入るか、はみ出るか）方式です。本器は外回りに何ら標準を要さず、調節、目盛表示も必要でなく、測定位置により左右されません。薄板、厚板、棒、不規則形状の物、又複雑な部品でも等しく充分検査できます。均質でない製品（被測物）中の透磁率の局部的な高低を効果的に探し出す。また冷間成形や焼鈍処理を必要とする現場でも利用できます。

本品には 1.01、10.2、1.05、1.10、1.15、1.2、1.4、1.6、1.8、2.0 及び 2.5M μ インサートが標準品でつきます。

本器の操作は既知の標準値 = 永久（棒）磁石対未知の物（被測物）との相互引力に基づきます。使用の際は、インサートはケース（本体）の上になじ込みます。するとマグネットはインサートに引きつけられます。この時の引力はインサート中の透磁率により左右されます。次にケースの底穴から突出したマグネット端を被測物に接触するよう持って来ます。ついで本体を接触面と垂直方向（面に対して手前）に引離します。その際もし、被測材がインサートよりも高い適応率を有する場合、マグネットの方が先にインサートから離れ（“網ひき”で被測物が勝つ）反対に被測材の透磁率がインサートよりも低い場合、マグネットが先に被測物から離れる。（“網ひき”でインサートが勝つ）こうしてインサートを行う換してゆけば被測物の透磁率量の範囲が決定できます。

本器はわずか承足 75 瓦、長さ 12.7cm で金属部分はすべてニッケル鍍金でスマートな櫛の本箱入り。

AS 愛知産業株式会社

本社 〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-12
TEL 03-3447-0201 FAX 03-3449-2143
名古屋営業所 〒465-0092 名古屋市名東区社台1-107谷口ビル1F
TEL 052-769-6131 FAX 052-769-6132
関西営業所 〒652-0803 神戸市兵庫区大開通8-2-2-107
TEL 078-515-8680 FAX 078-515-8681
広島営業所 〒732-0008 広島市東区戸坂くるめ木1-3-23
TEL 082-220-1740 FAX 082-220-0184

代理店